

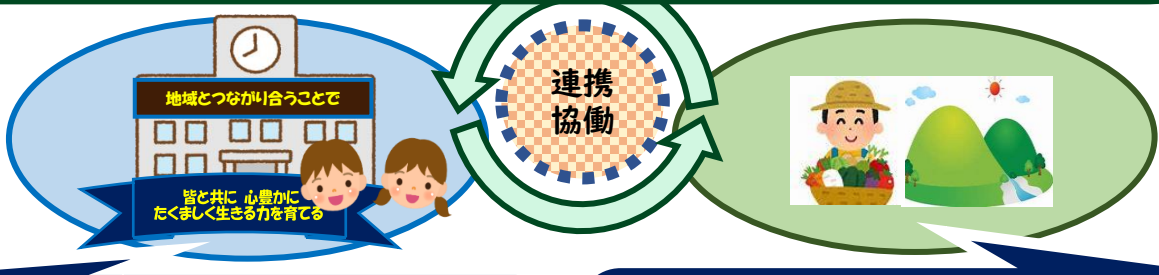


地域と『つながり合う』授業実践

地域交流 「麻機図書館に行ってみよう」

実践グループ：小学部3年

- ・国語の調べ学習で、学校にふさわしい資料がなかったため、近くに図書館があり、たくさんの本があることを紹介することで、子供は、図書館行きたいという気持ちを持つことができた。
- ・調べたいことについてふさわしい本を何冊か選んで提示してもらうことで、子供たちはより良い資料を短時間で得ることができ、学習意欲を持つことができた。



児童生徒にとっての価値

- ・身近にたくさんの資料（本）があることで、資料を選択する力をつけることができる。

地域にとっての価値

- ・本や資料など、地域の資源を有効に活用してもらうことができる。



『つながり合う』POINT！（地域支援連携課から）

- 学校に読み聞かせや折り紙を教えに来てもらえることで、子供は楽しい時間を過ごすとともに、音読の仕方を学ぶことができた。また、図書館職員の方も地域の学校に支援者という形で貢献できる。
- 図書館の利用後は、図書館の方に、子供たちから感想を伝えたり手紙を書いたりすることで、さらに「つながり合う」ことができると考える。
- 調べ学習のために図書館を利用することで、調べたいことについての知識を持っている職員の方が一緒に探してくれる等、児童の学びが深まる。
- 図書館の方からは、「地元の図書館をたくさん活用してほしい」というコメントをいただいている。目的に応じて、活用できるとよいと感じた。